

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

令和 4 年 6 月 29 日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ カメヤマジョウセキホゾンカイ
団体名 亀山城跡保存会
所在地
連絡先
フリガナ
代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ○ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	浮田ふるさと再発見事業
事業実施小学校区・地区	浮田学区
事業実施回数	新規 ・ 継続 9 回目 / 【H26 年度から】
課題	戦国の雄、岡山開府の祖と言われる宇喜多直家・秀家親子、その直家が戦国大名に名乗りを上げた居城であり、また豊臣秀吉に信頼を得て五大老の一人にまで上りつめた秀家の人生の始まりは亀山城であります。この亀山城西の丸は浮田小学校の敷地内にあり、『亀山城の城跡に』と校歌に歌われています。 しかし地域の新しい住民や若い世代にはその歴史的価値は十分知られてはおらず、歴史的資源としての愛着も薄れています。多くの学区民に郷土の偉大な先人と亀山城という郷土の歴史遺産を正しく理解し関心を持ってもらい、多くの方々に広めていく必要があります。



事業の目的	宇喜多直家飛躍の地・秀家誕生の地である亀山城跡を、この地域の歴史遺産として継続的に保存し後世に引き継ぎ、地域おこしの一役を担うことを目的とします。 また、岡山市指定史跡に指定された、この貴重な郷土遺産を地域住民はじめ、区内外の多くの方々に知っていただきたい。 この事業も9年目に入ったが、今後も岡山市指定遺跡の歴史遺産の維持・管理を継続していく。また「亀山城跡しおり」を活用してPRし、多くの方々に訪問していただき、歴史を感じることもできる場所としていただきたい。 また、子どもたちの野外での歴史教室や木工教室などを行い、この場所を地域の子どもたちが愛着をもてるような場所となることを目指します。
-------	--

1. 亀山城跡と周辺の調査・研究（亀山城跡保存会会員の現場研究）

2. 講演会の開催

2月開催予定。昨年はコロナ禍で開催できなかったが、状況は好転するかどうかで判断。

3. 城跡清掃管理

浮田学区の町内会及び学生ボランティア活動等広く清掃活動と呼び掛ける。

清掃活動の後、歴史講話の時間も設定する。

城跡を明るい場所とする、そして展望をよくするための樹木伐採を今年も行う。

4. 城跡に親しむ子どもの活動

- ・ 伐採した木を使つての野外での木工工作教室や、林を利用しての椎茸栽培などの試みを平成29年度より始めたが、その継続。

- ・ 亀山城跡保存会浮田子どもクラブの子どもたちの発案で、平成29年度は記念スタンプを制作設置、平成30年度は秀家・豪姫の顔出しパネルを制作設置したが、今年度の子どものアイデアに期待したい。

- ・ 浮田小学校の日本史（戦国時代）の授業を城跡で行う、などを予定。

- ・ 亀山城プレーパークを昨年度に引き続き開催。

- ・ 今年は秀家生誕 450 年の記念の年なので、何らかの記念行事を考えたい

- ・ 秀家生誕の地・岡山市立浮田小学校と、秀家終焉の地・八丈島大賀郷小学校との子どもたちの交流を開始したい

5. 亀山城跡保存会会員の募集

正会員・賛助会員の会員数をさらに増やしていきたい。

6. 公民館と連携を取り広く事業を推進する

昨年よりのコロナ禍が続いているので、状況をみながら考えていきたい。

※実施する感染防止対策の内容・方法など。

1. 亀山城プレーパークのようにチラシによる呼びかけの場合は、チラシに

参加条件などを明記して、かつ参加者の検温や連絡先の記入などを徹底する。

2. 講演会については、従来使用している地元の西の丸跡の会場は、人数制限をしないと密になるので、人数制限をするのか、状況によっては昨年同様延期も視野に入れる。

3. 小学校、中学校の清掃ボランティア活動については、学校側の判断による。

期待される成果・目標	亀山城は、宇喜多秀家に代って岡山城に入城した小早川秀秋によって、天守が岡山城の大納戸櫓に移築された他は全てを取り壊し廃城となりました。当時の城の姿形が見えないことから史跡調査の専門家を招致して会員自ら城跡の調査勉強会を行います。 地域の人に広報すれば郷土の歴史遺産にいつそうの親しみを持ってもらえると思います。平成29年度から子どもたちが城跡に親しむ活動も始めました。 また、「亀山城跡しおり」の発行により亀山城跡を訪問する人が増えています。上項事業を維持していくことで地域活動の活性化がいつそう図れると考えます。 亀山城跡の東屋に来訪者ノートを置いていますが、意外に遠方からの来訪者も多く、希望者には亀山城跡しおりや過去の講演会資料などを送付していて、たいへん喜ばれています。
企画などの工夫	・ 亀山城跡の調査・研究 講演会講師による現地での勉強会も含める。 ・ 講演会講師の選定と演題 この数年、学者研究者の公演が続いているが、新進気鋭の小説家による講演を昨年予定していたが、延期となっているので実現したい。 ・ 城跡の清掃管理等の人員配置 亀山城跡を知ってもらうために各団体にも呼び掛け多くの人の参加を推進。 ・ 城跡に親しんでもらうための子どもの遊び場や学習の場としての活用 展望が悪くなっていることや植樹した桜の木の成長を阻害していることもあって、城跡の樹木伐採を行っているが、その木を活用しての木工工作や椎茸栽培などを行う。 亀山城プレーパークの開催。 浮田小学校の発案で、社会（戦国時代）の授業を城跡での実施を計画する。 ・ 亀山城跡保存会浮田子どもクラブ（浮田小6年生が対象）への会員証授与式の実施
協働する団体等	浮田学区連合町内会 浮田小学校（PTA、子ども会などを含む） 浮田とちのみこども園（保護者の方々も含む） 上道中学校 上道公民館

事業の情報公開	・岡山市電子町内会浮田学区連合町内会ホームページ内の亀山城跡保存会便り等。 ・小学校、中学校への催し物等の情報提供。 ・公民館を通じての情報提供。 ・「亀山城跡しおり」を配布し、保存会会員募集活動のなかでの情報提供。
学区地区への広がり	亀山城跡保存会が設立されたのは、元々浮田学区の活動として構想されたものである。前述の「協働する団体」とも協力してさらに広げていきたい。
前年度からの見直し拡充点	前年度コロナ禍のなかで、実現できたもの、中止延期したものがある。今年度も状況判断を都度迫られるであろうことを前提にしての方向性でしかない。 講演会を広く知らしめるために、従来の学区内はもちろん、上道公民館や瀬戸公民館、岡山のいくつかの歴史研究グループ、その他、店舗などに講演会チラシを置いてもらいたくさんの人にいきわたるようにした。また、新聞の予告記事としてもとりあげてもらい、一昨年度は結果 170 名もの参加者があった。コロナ禍のなかで、この取り組みをやってよいのかどうか判断が難しい。 大人だけでなく子どもが亀山城跡に親しむ活動を、意識的に取り組んでいきたい。平成 29 年度から、城跡での木工工作や椎茸栽培などの取り組みを始めたが、さらに子どもたちのアイデアを募っていきたい。子どもクラブの活動は小学校側の実施するか否かの判断による。 また、市の担当者から子どもの活動の場所としてのプレーパークへの取り組みの提言をいただき、昨年度 4 回目を開催した。今年度は、その実行主体となる人材として小学生の子どもをもつ親世代の若手大人へ主旨の呼びかけと、関心をもってもらえるよう働きかけを行っていきたい。

次年度以降の予定	①次年度以後の活動計画 ・ 亀山城と関連する周辺の調査と研究 ・ 歴史講演会の開催 ・ 城跡の清掃及び管理 ・ 亀山城跡保存会会員の募集 ・ 亀山城跡の樹木成長にともない、地域の子どもの活動に有効活用するための伐採 ・ 亀山城プレーパークの開催 ②資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定 □（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	亀山城は宇喜多直家が 14 年間居城し、その間推定 15 万石の備前の国を統一し戦国大名に名乗りを上げた、直家飛躍の城であるとともに、豊臣秀吉政権の下で徳川家康、前田利家らと共に、五大老の一員となった秀家生誕の城です。 また城郭が大規模で曲輪が良好に残っていること、旧備前国における戦国期の代表的な城であることなどから重要な歴史遺産であると認められ、平成 24 年岡山市の指定史跡に指定されました。

事業スケジュール

月日	活動内容
4月	・ 亀山城跡保存会運営委員会 ・ 令和4年度亀山城跡保存会理事会
5月	
6月	・ 亀山城跡保存会浮田こどもクラブ会員証授与式
7月	・ 岡山の開祖宇喜多氏飛躍の地・うきだ振興まつり (写真展での参画)
8月	
9月	亀山城跡保存会運営委員会(今年度事業の企画等)
10月	・ 亀山城跡の清掃・管理 (浮田小学校と合同・含む歴史講話)
11月	・ 亀山城跡の樹木の伐採 ・ 亀山城跡の清掃・管理 (上道中学校と合同・含む歴史講話) ・ 亀山城跡の樹木の伐採
12月	・ 亀山城プレーパークの開催 ・ 郷土の歴史講演会の準備
1月	・ 郷土の歴史講演会の準備
2月	・ 郷土の歴史講演会開催
3月	・ 亀山城跡保存会運営委員会(今年度事業の反省等) ・ 子どもの木工工作教室、椎茸栽培の菌植え込み、など

年間を通して都度、亀山城跡保存会会員を募集。
「亀山城跡しおり」等により、広くPR活動も目的として実施する。

収支予算書

(令和4年度)

新型コロナウイルスの影響により、
令和3年度は事業規模を縮小して実施

収入

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内 容
岡山市補助金	69,600	253,000	
実施団体負担金	885	127,000	亀山城跡保存会
参加者負担金			
協賛金	62,000	106,000	町内会助成金
寄附金、他収入			
収入合計	132,485	486,000	

支出

単位:円

項目	前年度決算又は 決算見込額	予算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	40,790	190,000	以下別紙添付資料に記載
②食糧費	36,316	43,000	
③印刷製本費	33,900	68,000	
④燃料費	1,880	5,000	
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	2,110	20,000	
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費		20,000	
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費		80,000	
⑭保険料	8,900	10,000	
⑮旅費	1,800	30,000	
小計(①)	125,696	466,000	
⑮新型コロナウイルス	6,789	20,000	
小計(②)	6,789	20,000	
支出合計(①+②)	132,485	486,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください。)

補助金(3/4)の概算払いを 希望する ○ (希望しない)

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください。

- 内容欄へは使用用途等を記入してください。
- 記入欄が不足する場合は、欄を追加してください。